

Q: 必要なときは随時ボランティアで、手伝える時に手伝える方が参加するようにしてはどうでしょうか？

A: 理想的な方法だと思います。2020 年度に企画した『星を見る会』では多くのボランティアの方が運営に関わって頂きました。このような運営方式が可能であることを手応えとして感じています。

Q: 今年度はネットでの情報配信が多かった。ネットに不慣れな方に対する配慮も必要ではないでしょうか？

A: ネットを活用することで紙の配布物を減らすことは役員の大規模な負担軽減に繋がっております。なるべくわかりやすい方法を採用することで多くの方が活用できるように配慮しております。ご理解とご協力をお願いいたします。

Q: ツイタモンとは別に、PTA 配信用のシステムや仕組みがある方がいいのではないのでしょうか？

A: ツイタモンを PTA からの配信も可能とする予定です。学校からの配信と区別するために題名からすぐに判別できるようにするなどルールを作って運用を開始する方針としています。保護者の方へ直接、迅速にメッセージをお伝えすることができるツールを活用することで円滑かつ丁寧な PTA 活動の運営を心掛けます。

Q: 保護者の負担を少なくするために活動を見直してもよいのではないのでしょうか？

A: 2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動を大幅に縮小しています。この機会に不要な活動は見直しています。Web の使用や引継ぎ方法を見直すことで活動の効率化を進めています。

Q: 役員をやって頂く方への報酬制度があってもいいのではないのでしょうか？

A: 通信費など実費は頂いています。労力に見合った報酬を。という考え方があることも理解はできます。現時点で PTA 役員をされた方からそのような要望はでておりません。負担を軽減することで無償ボランティアとしての活動を継続する方針です。

Q: 連絡、会議など、オンラインでできるようになれば活動もスリム化するのではないのでしょうか？

A: 2020 年度から PTA 室内での Wi-Fi 環境を整備しました。ツイタモンとホームページを使用することで紙の配布は大幅に減らすことができました。内外の会議も Web を使用することが増えています。資料をクラウド上に保存することで自宅での作業や資料の共有も可能となっています。個人情報管理に十分配慮しながら急速に進む ICT 化に対応しようとしています。

Q: ベルマークの費用対効果はどうか？

A: これまでのベルマーク活動は主に学級委員の皆さんに多大な労力を費やして頂き成立していたと認識しています。以下ベルマーク財団とのやりとりの一部抜粋です。

ベルマーク財団からお願いしている事は、各会社ごとの袋(整理袋)にベルマークを入れていただき、表面に、何点が何枚入っている明細を記入してください。という事だけになります。各家庭から持ってきたベルマークを綺麗に切り揃える必要はございません。そのままの状態でご覧いただき、整理袋の中に入れてください。

※袋の中に入っているベルマークは、バラバラの状態ではございません。少しでも時間のかからない方法でお願いいたします。

今後は作業の簡易化を行います。得られた資金は 2019 年度 44,830 円でした。ケルヒャー高圧洗浄機、時計、オセロ、将棋などに交換しました。継続するかどうか。今後議論が必要だと考えております。